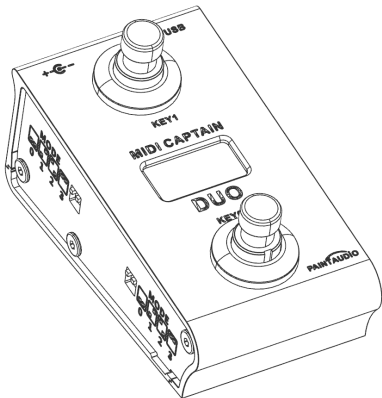
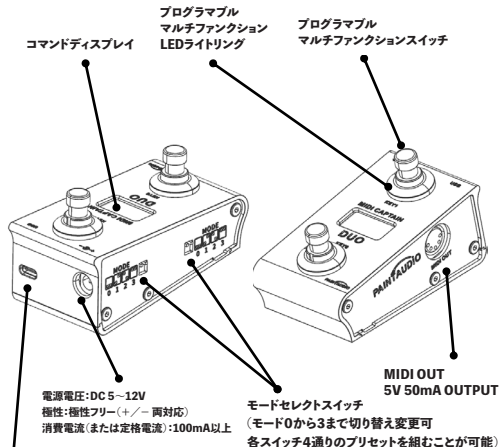


MIDI Captain **DUO**

With Super Mode MIDI Switches Configuration



Interfaces

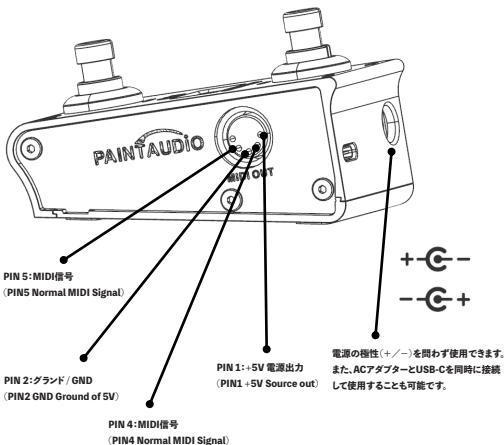


USB-MIDI通信および
任意での電源供給に対応しています。

MIDI Captain DUO

PAINTAUDIO

Special Reminder



MIDI CAPTAIN NANO4のMIDI IN端子は1番ピン(PIN 1)から5V給電出力を行う仕様のため、他機器との電源衝突による故障を防ぐには信号線(PIN 4/5)のみを結線した付属のMIDIケーブルを使用するのが最も安全です。(※Quad CortexやHX Stomp、BOSSなど一般的な現行エフェクターであれば、市販のMIDIケーブルを繋いでも故障する心配はほぼありません)

MIDI Captain DUO

PAINTAUDIO

本製品のMIDI設定について

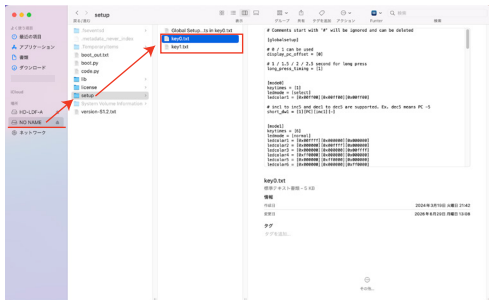
本製品は、プリセット(初期設定)をあらかじめ保持していないフルカスタム専用のMIDIスイッチャーです。お使いのマルチエフェクターやギタープロセッサの仕様に合わせてMIDI設定を行い、本体に書き込んでからご使用ください。

【設定手順】

1. スイッチ「KEY0」を押しながら、付属のUSB-C to Aケーブルでパソコン(Windows / Mac)と接続すると本体が「セットアップモード」で起動します。
2. パソコンの画面上に本製品のドライバアイコン("NO NAME")が表示されます。
3. ドライブ内の「supersetup」フォルダを開き、編集したいテキストデータ(key0.txt)、(key1.txt)を編集して上書き保存します。

テキストファイルを編集する前に必ずコピーしてバックアップを取ってください。編集がわからなくなった、動作しなくなった等、トラブルが起きた場合は、バックアップデータを上書きすると購入時の状態に戻ります。

4. 上書き保存して設定が完了したらマウスカーソルをアイコンに合わせて右クリック→「"NO NAME"を取り出す」をクリックしてからUSBケーブルを外し、再接続するとご使用頂けます。本製品は電源ボタンがないのでUSB接続で起動します。



下記の設定コードはメーカーによる設定用のサンプルコード(見本)が購入時に記載されています。このコードの書き方(法則)を参考に、編集やコピー＆ペーストを行います。ここではサンプルコードの意味を簡潔に説明します。

```
[mode0]
keytimes = [1]
ledmode = [select]
ledcolor1 = [0x00ff00][0x00ff00][0x00ff00]
short_dw1 = [1][PC][inc1][-]
```

このコード設定はモード「0」の状態では**PC(プログラムチェンジ)**の信号を1から順番に信号を送る設定です。

```
[mode2]
keytimes = [1]
ledmode = [tap]
ledcolor1 = [0xff0000][0xff0000][0xff0000]
short_dw1 = [3][CC][80][127]
```

モード「2」の状態では、スイッチを踏んで離すたびに、**チャンネル3 / CC #80 / Value. 127** のMIDI信号を1回送信します。曲のテンポに合わせて2回以上踏むことで、受け取り側のエフェクター側がテンポ(BPM)を認識・変更します。

```
[mode3]
keytimes = [1]
ledmode = [select]
ledcolor1 = [0xff0000][0xff0000][0xff0000]
```

```
short_dw1 = [press][HID][-][s][delay][HID][-][40][press][HID][-][d][delay][HID][-][40][release][HID][-][s][delay][HID][-][40][release][HID][-][d][delay][HID][-][40][press][HID][-][k][delay][HID][-][40][release][HID][-][k]
# short_dw1 = [send][HID][-][s][delay][HID][-][1000][send][HID][-][d]
```

モード「3」の状態ではスイッチを押すと、MIDI信号の代わりにパソコンのキーボード操作(HIDキーボード信号)をあらかじめ決められた順序とタイミング(ミリ秒単位の遅延)で自動送信します。このキーコードの場合は「s」→「d」→「s」→「d」→「k」の順番に自動送信します。主にDAWソフト(録音・再生ソフト)のショートカット操作やアプリのキーマクロ機能として活用する際に使用します。

がついている行は「コメント(無効化された説明文・書き方の見本)」です。設定を有効にしたい場合は# を消して記述してください。

動作の流れ:s キーを押す → 40ミリ秒待つ
d キーを押す → 40ミリ秒待つ
s キーを離す → 40ミリ秒待つ
d キーを離す → 40ミリ秒待つ
k キーを押す → 40ミリ秒待つ → k キーを離す

[press][HID] や [release][HID] は、パソコンに対して「キーボードのキーを押す/離す」信号を送る命令です。

[delay][HID][-][40] は「次のキーを押すまでに40ミリ秒の空き時間を挟む」というタイマー設定です。

【HIDキーボード設定のワンポイント】

単体のキー(Spaceキーや各種文字キーなど)を1回押すだけのシンプルな設定であれば、[-][HID][-][Space]と簡潔に記述するだけで正しく動作します。

```
[mode1]
keytimes = [6]
ledmode = [normal]
ledcolor1 = [0x00ffff][0x000000][0x000000]
ledcolor2 = [0x000000][0x00ffff][0x000000]
ledcolor3 = [0x000000][0x000000][0x00ffff]
ledcolor4 = [0xff0000][0x000000][0x000000]
ledcolor5 = [0x000000][0xff0000][0x000000]
ledcolor6 = [0x000000][0x000000][0xff0000]
short_up1 = [1][PC][0][-]
short_up2 = [1][PC][1][-]
short_up3 = [1][PC][2][-]
short_up4 = [1][PC][3][-]
short_up5 = [1][PC][4][-]
short_up6 = [1][PC][5][-]
long1 = [1][PC][6][-]
long2 = [1][PC][7][-]
long3 = [1][PC][8][-]
long4 = [1][PC][9][-]
long5 = [1][PC][10][-]
long6 = [1][PC][11][-]
```

このコード設定はモード「1」の状態では短押しするとPC(プログラムチェンジ)No.を0から5まで順番に送信、長押しすると6から11まで順番に送信します。

本製品の信号は「短押し(down)」「短押し(up)」「長押し(down)」「長押し(up)」の4通りで送信手段があります。
ここでは記入例をご紹介します。

short_dw1 = [1][CC][15][127]

Channel No.

CC No.

Value No.

CC(コントロール No.)、PC(プログラムチェンジ No.)、NT(ノート No.)のいずれかを入力

上記のコード入力の場合、スイッチを「短押し(down)」すると**チャンネル1+CC#15+Value No.127**が送信可能。

short_up1 = [2][PC][15][-]

Channel No.

PC No.

Value No.

CC(コントロール No.)、PC(プログラムチェンジ No.)、NT(ノート No.)のいずれかを入力

上記のコード入力の場合、スイッチを「短押し(up)」すると**チャンネル2+PC#15**が送信可能。

long1 = [3][CC][30][0]

Channel No.

CC No.

Value No.

CC(コントロール No.)、PC(プログラムチェンジ No.)、NT(ノート No.)のいずれかを入力

上記のコード入力の場合、スイッチを「長押し(down)」すると**チャンネル3+CC#30+Value No.0**が送信可能。

long_up1 = [4][PC][60][-]

Channel No.

PC No.

Value No.

CC(コントロール No.)、PC(プログラムチェンジ No.)、NT(ノート No.)のいずれかを入力

上記のコード入力の場合、スイッチを「長押し(up)」すると**チャンネル4+PC#60**が送信可能。

1つのスイッチで順番に信号を送信したい場合の記入例

```
keytimes = [3]
```

keytimes = [x] (切り替え回数)

スイッチを押すたびに切り替わる動作の総数を設定します。

```
ledmode = [normal]
```

```
ledcolor1 = [0x00ffff][0x000000][0x000000]
```

```
ledcolor2 = [0x000000][0x00ffff][0x000000]
```

```
ledcolor3 = [0x000000][0x000000][0x00ffff]
```

```
short_dw1 = [1][CC][10][25]
```

```
short_dw2 = [1][PC][10][-]
```

```
short_dw3 = [1][CC][47][100]
```

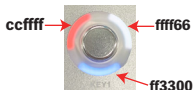
上記のコード入力の場合、スイッチを3回「短押し(down)」するとチャンネル1+CC#10+Value No.25、チャンネル1+PC#10、チャンネル1+CC#47+Value No.100、が順番に送信可能。

ledcolorについて

各スイッチに3箇所のLEDライトが点灯します。6桁のカラーコードを入力してカラー変更が可能です。
3色同じ色はもちろん、それぞれのLEDライトもカラー変更が可能です。

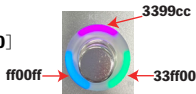
カラーコード入力例1(上側のスイッチ)

```
ledcolor1 = [0xccffff][0xffff66][0xff3300]
```



カラーコード入力例2(下側のスイッチ)

```
ledcolor1 = [0xff00ff][0x3399cc][0x33ff00]
```



1つのスイッチで順番にカラーを変更したい場合の記入例

keytimes = [3]

ledmode = [normal]

ledcolor1 = [0x00ffff][0x00ffff][0x00ffff]

ledcolor2 = [0x33cccc][0x33cccc][0x33cccc]

ledcolor3 = [0xff00ff][0x3399cc][0x33ff00]

short_dw1 = [1][PC][0][-]

short_dw2 = [1][PC][2][-]

short_dw3 = [1][PC][4][-]

スイッチを押す回数「short_dw1, short_dw2, short_dw3」に対応させて、「ledcolor1, ledcolor2, ledcolor3」の色を指定します。

ledcolor1 = [0x00ffff][0x00ffff][0x00ffff]

ledcolor2 = [0x33cccc][0x33cccc][0x33cccc]

ledcolor3 = [0xff00ff][0x3399cc][0x33ff00]



※下記のカラーコードは一例です。お好みの色に変更したい場合は、
Web等で「カラーコード (HEX)」を検索し、好きなコードを入力してください。

	000000		330000		660000		990000		CC0000		FF0000
	003300		333300		663300		993300		CC3300		FF3300
	006600		336600		666600		996600		CC6600		FF6600
	009900		339900		669900		999900		CC9900		FF9900
	00CC00		33CC00		66CC00		99CC00		CCCC00		FFCC00
	00FF00		33FF00		66FF00		99FF00		CCFF00		FFFF00
	000033		330033		660033		990033		CC0033		FF0033
	003333		333333		663333		993333		CC3333		FF3333
	006633		336633		666633		996633		CC6633		FF6633
	009933		339933		669933		999933		CC9933		FF9933
	00CC33		33CC33		66CC33		99CC33		CCCC33		FFCC33
	00FF33		33FF33		66FF33		99FF33		CCFF33		FFFF33
	000066		330066		660066		990066		CC0066		FF0066
	003366		333366		663366		993366		CC3366		FF3366
	006666		336666		666666		996666		CC6666		FF6666
	009966		339966		669966		999966		CC9966		FF9966
	00CC66		33CC66		66CC66		99CC66		CCCC66		FFCC66
	00FF66		33FF66		66FF66		99FF66		CCFF66		FFFF66
	000099		330099		660099		990099		CC0099		FF0099
	003399		333399		663399		993399		CC3399		FF3399
	006699		336699		666699		996699		CC6699		FF6699
	009999		339999		669999		999999		CC9999		FF9999
	00CC99		33CC99		66CC99		99CC99		CCCC99		FFCC99
	00FF99		33FF99		66FF99		99FF99		CCFF99		FFFF99
	0000CC		3300CC		6600CC		9900CC		CC00CC		FF00CC

DTMソフトのトラックを再生したい場合のキーコード入力例

`short_dw1 = [-][HID][-][Space]`

↑
キーボードコマンドを送ります、という信号

↑
キーボード「SPACE」を指定

上記のコード入力の場合、「SPACE」キーボードの短押しを指示します。

コマンドキー、コントロールキーを使用しない場合はmacOS, windowsOSどちらもご使用可能です。

DTM、宅録等で使用されるショートカットキーをスイッチで操作することも可能です。

ショートカットキーを設定する場合のキーコードの入力例をご紹介します。

`short_dw1 = [-][HID][Windows][A]`

↑
キーボードコマンドを送ります、という信号

↑
Command キー

↑
キーボード「A」を指定

上記のコード入力の場合、「command」+「A」、**macOS用全体選択ショートカットキー**をスイッチで操作可能です。

MacOS側が「Windowsキーの信号=Commandキー」と自動的に変換して認識するため[Cmd]は非対応です。

`short_dw1 = [-][HID][Ctrl][A]`

↑
短押しを実行

↑
キーボードコマンドを送ります、という信号

↑
コントロールキー

↑
キーボード「A」を指定

上記のコード入力の場合、「Ctrl」+「A」、**WindowsOS用全体選択ショートカットキー**をスイッチで操作可能です。

MacとWindowsで「全選択」に使う基本キーがCommand(=Windowsキーの信号)かControlかで

異なるため、Windowsで全選択をさせたい時は[Ctrl]をご使用ください。

よくある質問

すべてのマルチエフェクター、ギタープロセッサに対応していますか？

いえ、全てではありません。接続する本体側のCC受信が限定されている場合もございます。本体側のMIDI互換に関しましては各メーカーのマニュアルに記載されているのでそちらをご確認、もしくはメーカーにお問い合わせることを推奨します。

すべてのDAWに対応していますか？

いえ、全てではありません。たとえばFender Studio Pro8は外部スイッチャーからCC#を受信すること自体は可能ですが、PLAY、STOP、◀◀、など操作はMIDI操作に対応しておりません。反対にABLETON LIVE、LOGIC PROはCC#に柔軟に対応しております。このようにDAWによって仕様が異なるのでDAWのメーカーにお問い合わせください。

macで設定を行ってますが、読み込みの認識が遅かったり、上書き保存の時に時間がかかったり、またフリーズになりそうな状態にもなりますがバグですか？

Mシリーズmacとの互換が完全ではないため、認識や動作が遅い場合がございます。

WindowsOSは比較的ハードウェアとの相性が良いのでWindowsPCでのご使用を推奨します。

DAW操作のショートカットキーのコードを入力しましたがUSB-C接続してドライバーのインストールやアプリ側で何か設定が必要ですか？

いいえ、ショートカットキーとしてご使用する場合は、MIDI信号を送信しないのでDAW側では特に設定する必要はありません、本体のモードをノブで設定してUSB-C接続して頂ければそのままご使用可能です。

設定コード以外にも「#」が付いた英文が表記されていますがこのコードは何ですか？

#がついている行は「コメント(無効化された説明文・書き方の見本)」です。設定を有効にしたい場合は#を消して記述してください。

編集ミスでうまく動作しない上にバックアップデータを紛失してしまいました。

弊社メールアドレス「k-garage@kikutani.co.jp」担当:保木口宛にご連絡頂ければバックアップデータをお送り致します。